

S I P（戦略的イノベーション創造プログラム）
『革新的設計生産技術』推進委員会（第4回）議事要旨

1. 日 時 : 平成27年5月15日（水）10:00～12:00

2. 場 所 : 内閣府中央合同庁舎第8号館6階 615会議室

3. 出席者 : (敬称略)

(総合科学技術・イノベーション会議)

久間 和生 常勤議員 S I Pガバニングボード議長

原山 優子 常勤議員

(議長)

佐々木 直哉 プログラムディレクター (PD)

(サブプログラムディレクター)

帯川 利之 東京大学 生産技術研究所 機械・生体系部門 教授

善本 哲夫 立命館大学 経営学部 デザイン科学研究センター 教授

(推進委員)

塩見 篤史 経済産業省 産業技術環境局 研究開発課 戦略官

工藤 雄之 文部科学省 科学技術・学術政策局 研究開発基盤課 量子放射線研究推進室 室長

弓取 修二 NEDO ロボット・機械システム部 部長

古川 雅士 J S T 経営企画部 重点分野推進チーム ナノテクノロジー・材料分野 研究監

(オブザーバ)

川口 由起子 文部科学省 科学技術・学術政策局 研究開発基盤課 量子放射線研究推進室 係員

松本 明善 文部科学省 研究振興局 参事官 (ナノテクノロジー・物質・材料担当) 付 調査員

照沼 勝彦 NEDO ロボット・機械システム部 主幹

丹野 興一 NEDO ロボット・機械システム部 主査

鈴木 律 NEDO ロボット・機械システム部 主査

須永 吉彦 NEDO ロボット・機械システム部

岡山 純子 J S T 研究開発戦略センター フェロー

(発表者)

貝原 俊也 神戸大学 大学院システム情報学研究科 教授

西野 孝 神戸大学 大学院工学研究科 教授

西澤 重喜 神戸大学 連携創造本部 特命教授

鈴木 宏正 東京大学 大学院工学系研究科精密工学専攻 教授

大富 浩一 東京大学 大学院工学系研究科精密工学専攻 特任研究員

(事務局)

松本 英三 内閣府 科学技術・イノベーション担当 審議官

守屋 直文 内閣府 科学技術・イノベーション担当 政策企画調査官

山本 大介 内閣府 科学技術・イノベーション担当 政策調査員

小笠原 伸二 内閣府 科学技術・イノベーション担当 政策調査員

4. 議事

- (1) 運営会議設置について
- (2) ものづくり産業活性化シナリオ、連携システム構築に関する調査公募について
- (3) 海外視察報告
- (4) 進捗報告【非公開】
 - (研究開発項目 (A) 超上流デライト設計手法について研究開発テーマより報告)
 - ・リアクティブ3Dプリンタによるテーラーメイドラバー製品の設計生産と社会経済的な価値共創に関する研究開発
 - ・革新的デライトデザインプラットフォーム技術の研究開発
- (5) 今年度計画について【非公開】
 - ・ステージゲートにおける評価基準
 - ・24研究テーマへの予算配分方針
 - ・各研究テーマヒヤリング報告
 - ・全体研究開発計画
 - ・年間スケジュール

5. 配布資料

- 資料1-1 S I P革新的設計生産技術・運営会議の設置について
- 資料1-2 S I P革新的設計生産技術・運営会議 構成員名簿
- 資料1-3 S I P革新的設計生産技術 推進体制 (修正案)
- 資料2-1 ものづくり産業活性化シナリオに関する調査公募
- 資料2-2 ものづくり連携システム構築に関する調査公募
- 資料3-1 欧州動向調査報告
- 資料4-1 進捗報告：リアクティブ3Dプリンタによるテーラーメイドラバー製品の設計生産と社会経済的な価値共創に関する研究開発
- 資料4-2 進捗報告：革新的デライトデザインプラットフォーム技術の研究開発
- 資料5-1 ステージゲートにおける評価基準について
- 資料5-2 24研究テーマへの予算配分方針
- 資料5-3 各研究テーマヒヤリング報告
- 資料5-4 S I P革新的設計生産技術 研究開発計画
- 資料5-5 年間スケジュール
- 参考資料1 S I P革新的設計生産技術 推進委員会構成員名簿
- 参考資料2 S I P革新的設計生産技術 推進委員会 (第3回) 議事要旨

6. 議事要旨

(1) 運営会議設置について

資料1-1、資料1-2、資料1-3に基づき、事務局より説明がなされた。

(2) ものづくり産業活性化シナリオ、連携システム構築に関する調査公募について

資料2-1、資料2-2、資料1-3に基づき、NEDOより説明がなされた。

- ・調査のスペックを出すのが難しいと思うがどうする予定か。
→各界の有識者による検討体制をつくりそのアイデアを出す所も含めて委託する予定。
調査結果やアイデアをメンバーで議論する場も考えている（PD）。
- ・NEDOのシンクタンクに相当する研究開発センターを使うのか。
→NEDO ロボット・機械システム部がグリップする（NEDO）。
- ・特に指示なく調査依頼した場合、一般的な調査内容が提出されるだけで、あまり良いものにならない。佐々木PDが全体を構想し、必要な課題設定をすること。
- ・実施すべきだが遅い。スタートする前から調査しておくのが筋である。アウトプットは各テーマにフィードバックかけていくこと。

(3) 海外視察報告

資料3-1に基づき、事務局より説明がなされた。

(4) 進捗報告【非公開】

資料4-1、資料4-2に基づき、各研究テーマ責任者より発表がなされた。

(5) 今年度計画について【非公開】

今年度の計画案について、資料5-1、資料5-2、資料5-3、資料5-4、資料5-5に基づき、事務局より説明を行い、承認された。